

人流分析サービスを活用した地域課題解決

～全庁活用に向けた人材育成の取組～

射水市 企画管理部 未来創造課 DX推進班

班長 近岡 良祐

富山県 いみず 射水市 ってどんなところ？

南北に10.9km、東西16.6kmのコンパクトな市です。海と山の両方を持つため、漁港や富山新港を中心とした工場、田畑など、地形を活かした産業が多数存在します。



2005年11月、歴史や地形がそれぞれ異なる1市3町1村が合併し、地域性豊かな「射水市」となりました。

2015年3月に北陸新幹線が開業し、富山・東京間は最短2時間8分で行き来ができるようになり、首都圏へのアクセスが大変良くなりました。

人口 90,997人

世帯数 37,072世帯

1世帯あたりの人数

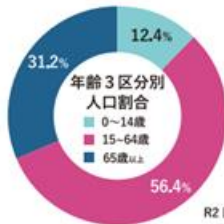
射水市 2.63人

富山県 2.5人 全国 2.21人

R5,12.31現在

R2 国勢調査

人口



R2 国勢調査

在住外国人数

富山市 8,444人

高岡市 4,022人

射水市 3,393人

射水市は、市の総人口に占める外国人の割合が県内の自治体の中で最も多く、(3.7%)様々な国籍の方が住んでいます。

R6,1.1現在



射水市 内川



富山湾鮭



海王丸と新湊大橋

令和元年度に地元のケーブルテレビ事業者から、地域課題の解決に向けて、無線通信(LPWA) やIoTセンサーの活用について提案があった。

このことから、情報担当部署において各課で抱える課題事項の調査を実施したところ、施設の利用者数や属性情報の把握、イベント参加者の正確な数値化など、様々なニーズが浮かび上がった。

当初は人物属性分析カメラ等による人数カウントを試行したが、電源を確保するため設置場所の制約があることや、1か所あたり50万円以上のコストがかかること、入口が複数あるイベント会場での測定の難しさなど、様々な課題が明らかになり断念。

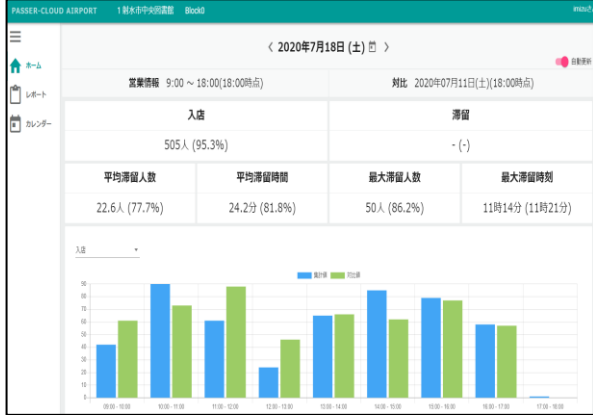
【カウントセンサー】



【人物属性分析カメラ】



【利用者数】



【人物属性】



令和4年度にスマートフォンのGPSを活用した人流分析サービスを用いた実証実験を実施。センサーよりも詳細なデータ取得が可能であることを確認。

令和5年度から人流データの全庁的な活用を開始し、観光・文化、福祉、防災など24の事業で分析を実施。分析結果を基に事業の見直しやデジタル田園都市国家構想交付金のKPI等に活用。

年度末に人流分析の報告会を開催し、各課の活用事例や課題を共有するとともに、庁内ポータルサイトで、各課の分析結果を職員が閲覧できるようにしている。

→ **各課の取組を組織全体で共有することにより、人流データの有効な活用を促進**

【令和5年度に実施した24事業】

観光・イベント系 8

政策推進課：内川イベント人流分析
地域福祉課：福祉イベント人流分析
観光定住課：花火大会の人流分析
観光定住課：海鮮まつりの人流分析
観光定住課：曳山まつりの人流分析
観光定住課：道の駅の集客分析
河川港湾課：かわべ開放Weekの人流分析
河川港湾課：海王丸パークの人流分析

文化・スポーツ系 5

市民活躍文化課：北陸道アート人流分析
市民活躍文化課：匠の里 人流分析
商工企業立地課：市内体育館の人流分析
商工企業立地課：市内文化施設の人流分析
市民活躍文化課：市内文化施設のリピート率

都市計画系 9

資産経営課：放生津小学校周辺の人流分析
環境課：主要ごみ収集所の人流分析
都市計画課：内川周辺の長期人流分析
都市計画課：市内宿泊施設の人流分析
都市計画課：富山県立大の通学状況調査
都市計画課：市内4エリアの人流分析
河川港湾課：川の駅の人流分析
商工企業立地課：市内商店街の人流分析
商工企業立地課：市内全域の人流調査

医療・福祉系 1

地域福祉課：5エリア高齢者活動調査

防災・減災系 1

未来創造課：地震時における人流調査

【勉強会・報告会】



【ポータルサイト】

令和5年度分			
課	更新日	更新者	サイズ
市民活躍文化課	2024年4月26日	更新者: 杉本 桃香	36.7 MB
観光・定住課	2024年4月9日	更新者: 杉本 桃香	11.6 MB
商工企業立地課	2024年4月4日	更新者: 杉本 桃香	18 MB
商工企業立地課	2024年4月4日	更新者: 杉本 桃香	17.5 MB
河川港湾課	2024年3月26日	更新者: 杉本 桃香	30.6 MB
地域福祉課	2024年3月19日	更新者: 杉本 桃香	95.1 MB
環境課	2024年2月27日	更新者: 杉本 桃香	65.4 MB
商工企業立地課	2024年2月27日	更新者: 杉本 桃香	62.7 MB
都市計画課	2024年2月5日	更新者: 杉本 桃香	70.6 MB

なぜ人流データを使おうと思ったか、どのように知ったか

令和4年度に複数のキャリアからスマートフォンのGPSを活用した人流分析サービスの提案があり、地元のケーブルテレビ事業者と連携して実証実験を実施。

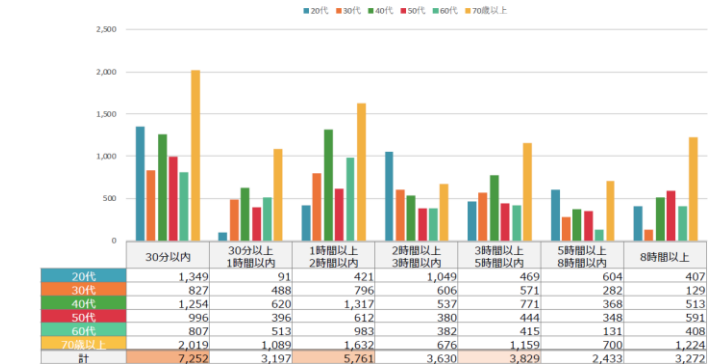
曳山まつりや花火大会での検証を通じて、人数のカウントだけでなく、来訪者の属性や移動経路など、より詳細なデータが取得できることを確認した。



1-3. 滞在時間別分析 新湊曳山まつり/巡行エリア

【集計の条件】 期間：2024年10月1日（火） 時間：9:00～23:00 滞在時間：15分以上（通行人を除くため） 天気：☀️

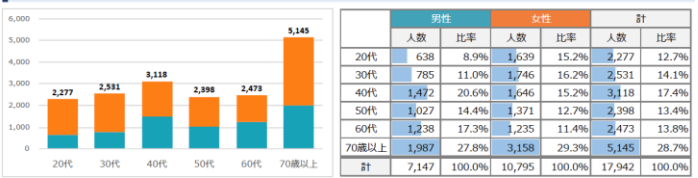
滞在時間別 × 年代別



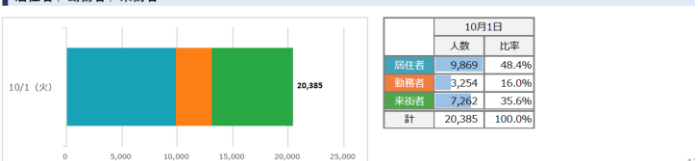
1-1. 来訪者属性分析 新湊曳山まつり/巡行エリア

【集計の条件】 期間：2024年10月1日（火） 時間：9:00～23:00 滞在時間：15分以上 全人口推計（日ユニーク）
居住者＝射水市に住んでいる人 / 勤務者＝射水市で働いている人 / 来街者＝居住者、勤務者に当たらない人

年代別 × 性別

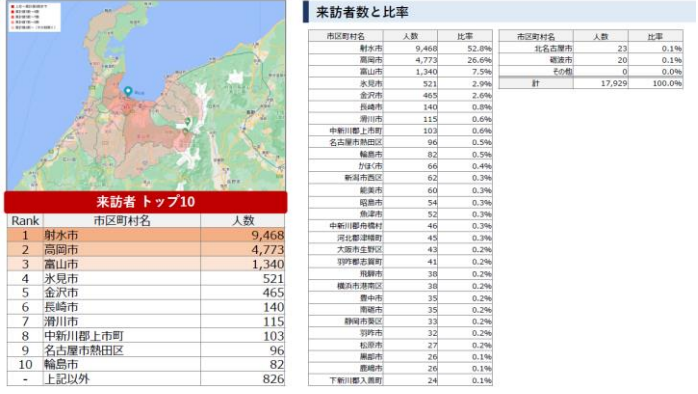


居住者 / 勤務者 / 来街者



1-4. 来訪者居住地分析 市区町村別 新湊曳山まつり/巡行エリア

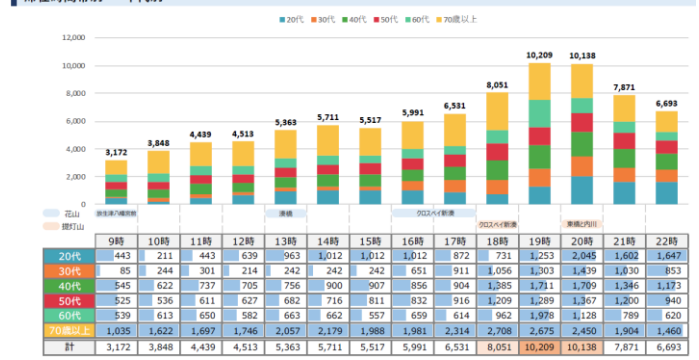
【集計の条件】 期間：2024年10月1日（火） 時間：9:00～23:00 滞在時間：15分以上 全人口推計（日ユニーク）



1-2. 滞在時間帯別分析 新湊曳山まつり/巡行エリア

【集計の条件】 期間：2024年10月1日（火） 時間：9:00～23:00 滞在時間：15分以上（通行人を除くため） 天気：☀️

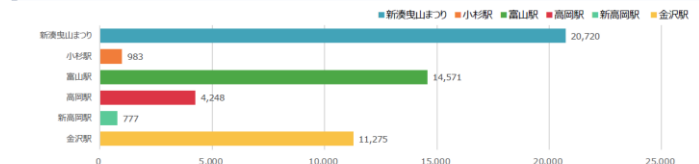
滞在時間帯別 × 年代別



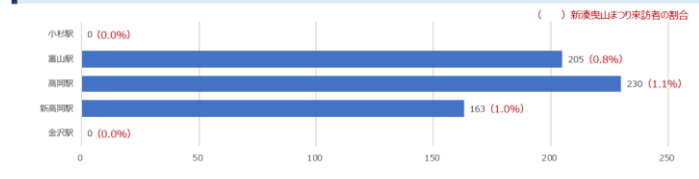
1-5. 電車の利用 新湊曳山まつり/巡行エリア

【集計の条件】 期間：2024年10月1日（火） 時間：9:00～23:00 滞在時間：指定なし 全人口推計（日ユニーク）

来訪者数



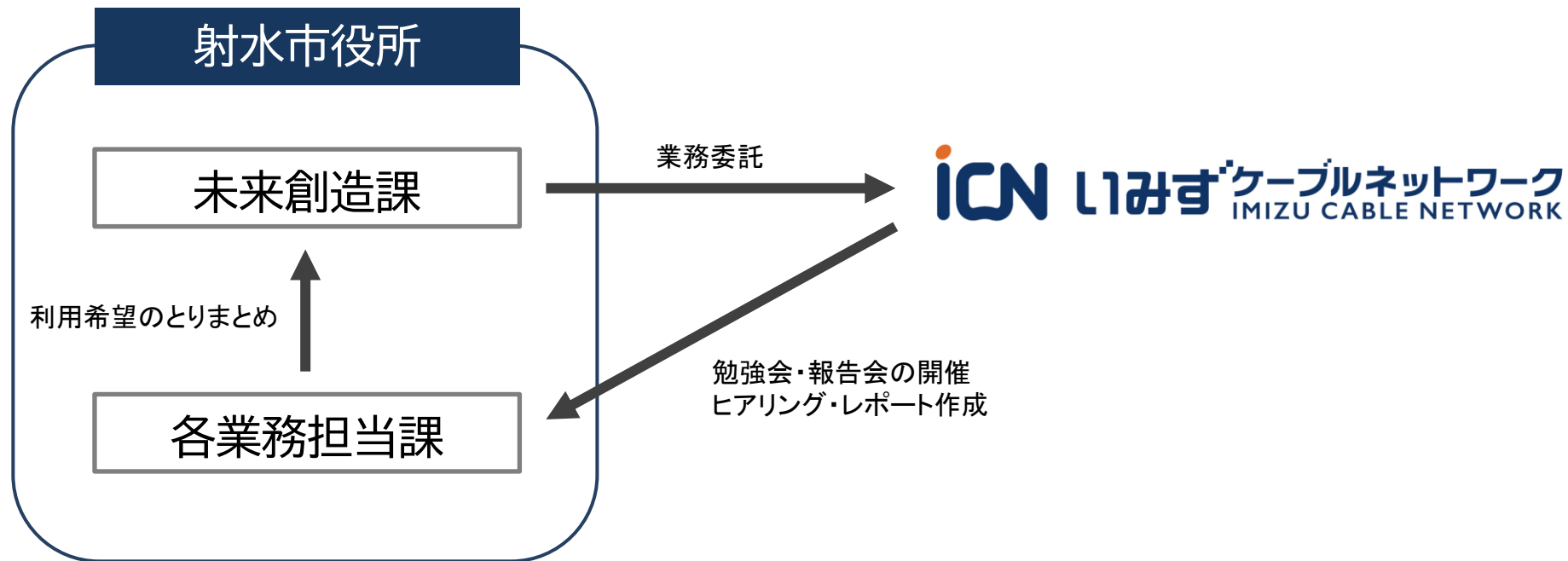
同日併用者数



各業務担当課における「人流分析サービス」の利用希望業務を未来創造課D X推進班で取りまとめ、一括して地元のケーブルテレビ事業者に人流分析に関する業務を委託。

→ **職員は施策立案に集中できる体制を構築**

【人流分析サービスの実施体制】



未来創造課が予算を一括で確保し、各課が活用しやすい環境を整備。

→ **部署単位での予算確保の負担を軽減**

良かった点

- ・ ケーブルテレビ事業者の協力により、実証実験において効果検証をした上で、予算要求を行えた。
- ・ データの可視化により、これまで感覚値や目視に頼っていた来訪者数や属性情報を、客観的なデータとして把握できるようになった。
- ・ 日本全域が分析可能な対象エリアであり市外との比較や、過去データ（2018年1月以降）との比較など、様々な分析ができる。
- ・ 未来創造課で利用業務の取りまとめから予算要求まで一括して実施したことや、分析ツールを使った作業をケーブルテレビ事業者に業務委託したことで、業務担当課が人流データを利用しやすい環境を構築できた。

足りない点

- ・ 分析ツールの仕様で、20歳未満のデータが対象外となっている。また外国人旅行者のデータも対象外である。
- ・ 統計的な知識が必要な分析や、データに基づく将来予測・シミュレーションまで実施できていない。
- ・ 現状把握はできても、施策立案や効果検証までつなげられている部署が限られている。

20歳未満のデータ

ケーブルテレビ事業者において、AIを活用し、国勢調査データや市のオープンデータ等から20歳未満のデータを推計する手法を検討している。

専門的な知識

有識者の知見も活用しながら専門的な分析スキルも補完していきたい。

人流データの利活用

E B P M（エビデンスに基づく施策立案）の推進を目指し、外部専門人材の活用や、勉強会・報告会などを通して、データの解釈から仮説を立て、解決策を立案し実行することができる職員を増やし、人流データの利活用について、組織内で定着するように取り組んでいきたい。